



私立高校生

授業料軽減支援が増額に

私立学校助成審議会で たぞえ委員が提案



5月25日、東京都私立学校助成審議会がひらかれ、学校への今年の補助金の配

分が審議されました。審議会は、私立学校の理事長や校長、中学・高校協会の会長のほか、自民、民主、公明の委員で構成されています。私学の父母もたくさんの方々がかけつけ傍聴しました。

審議会委員のたぞえ都議は、「私立高校生の家庭で生活保護世帯が1.3倍にも急増し、学費のためにアルバイトをしている生徒、授業料を払えず退学する生徒がいる」と指摘し、都の授業料支援の増額を求めました。都は、たぞえ委員の提

案に授業料補助を11年ぶりに増額すると答えました。

生活保護世帯	164 000 円	180 000 円(年額)
非課税世帯	123 000 円	135 000 円(年額)
4人家族70万円世帯	83 000 円	91 000 円(年額)

また、保護者の失職や倒産など、家計急変で授業料が払えない問題を取りあげ、「授業料減免制度をもっていない学校が半分近くあり、急変に対応できていない。すべての学校に制度を持つよう働きかける必要がある。全額都の補助にするべき」と要求しました。都は、「機会をとらえて制度の主旨を説明し、活用するよう働きかける」と答えました。世田谷区内には27の私立中学・高校、7つの私立小学校があり、減免などの手続きが各学校で始まります。

急増する外国人生徒の 学校の充実を(三宿中学を訪問)

区立三宿中学校に夜間学級があります。通常学級には42名、外国人のための日本語学級には40名が在学しています。たぞえ都議と中里・桜井区議が5月18日、学校を訪問しました。教室ではネパール、中国、ベトナムなど11カ国の生徒が日本語を一生懸命勉強していました。生徒と一緒に給食を食べ懇談。「日

本語はむずかしいけど、一度覚えると日本の世の中が良く見えるよ」とナイル川のあるアフリカのスーダン



からきた生徒は語っていました。東京には7千人以上の外国人児童がいても、日本語学級で学んでいる人は5百人だけです。学校の設置が急がれていると痛感しました。